

園生活及び園経営に関する保護者アンケート集約

保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたアンケート結果の集約を報告いたします。(数字は%)アンケート結果を分析・考察し、より充実した保育のために活かしていきたいと考えております。来年度も本園教育活動へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

	項 目	4 そう思う	3まあそう思う	2あまり思わない	1 思わない
1	子どもは、喜んで登園している。	72.9	26	1	0
2	子どもは、進んであいさつや返事をしようとしている。	32.3	58.3	8.3	1
3	子どもは好きなあそびやしたいことにじっくりと取り組もうとしている。	77.1	21.9	1	0
4	子どもは、あそびの中で、友だちに自分の思いを伝えたり、折り合いをつけたりしながら関わっている。	37.5	58.3	3.1	1
5	子どもは、家庭で幼稚園のできごとを話している。	51	42.7	6.3	0
6	子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣など、基本的な生活のリズムが整っている。	59.4	34.4	6.3	0
7	子どもは、読み聞かせしてもらうことを楽しみにし、よく本を見ている。	65.6	29.2	5.2	0
8	園は、教育目標にある「主体的に生きる子ども」の実現に向けて努力している。	82.3	16.7	1	0
9	園は、「子ども理解」に努め、一人一人の育ちを大切に保育している。	72.9	26	1	0
10	園は、避難訓練や環境整備、マニュアル作成などによって「命を守る」対策ができています。	91.7	8.3	0	0
11	園は、子育てトークや個人面談などを通して、子育ての相談ができる体制を整えている。	80.2	18.8	1	0
12	園は、園内の遊具・施設などの教育環境を、整備している。	75	22.9	2.1	0
13	園は、園便りや園長だより、さくらメール・ホームページなどを通して、必要な情報提供をしている。	72.9	26	1	0
14	園は、保護者の参画を教育活動に活かしている。	72.9	26	1	0

〈令和7年度後期アンケート結果の考察〉

項目1～7までの子どもに関するアンケートの肯定的評価(評価4,評価3)の平均値は95.2である。前期アンケートの結果同様、項目2「進んであいさつや返事をしようとしている」の肯定的評価は全体から見ると低い数値であるが、この項目で前期アンケートに「あまり思わない」と回答した14.4の数値は減少し8.3である。このことから、大人も子どももあいさつの大切さを意識した結果であると考えられる。引き続き家庭との連携を大切にしていきたい。項目8～14の園経営に関するアンケートの肯定的評価の平均値は98.9である。項目9以外の項目において、肯定的評価4の数値が前期結果に比べ上昇しているが、前期同様、項目9の「子ども理解」の数値は全体に比べると低い。来年度は希望面談を全員面談にする計画にもしているが、日常の円陣の時間の有効活用も視野に入れたい。子ども理解は基本であることから課題を真摯に受け止め一人一人に寄り添った保育に努めていきたい。研修部主催の講演会では防災・減災の視点から話をいただき、項目10の数値も増加したと考えるが、普段の避難訓練の様子などの共有も図り、命を守る行動を子ども大人全員で確認したい。

園の重点目標にある「共にぞだつ」を達成するため、これからも日々の保育を振り返り子どもの姿を確実に見取り大切にしながら、地域のモデル園としての公的役割を果たせるように努力していきたいと考える。